

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2019, 7, 11 NO, 254

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



国保料 値上げ通知に千件超える問い合わせ

収入が変わらないのに、なぜ保険料値上げに？ 問い合わせ殺到

今年度の国民健康保険料通知が6月中旬に国保世帯にいつせい通知が行われました。

私が調査をした結果、この通知に対して、わずか6日間に1156件の問い合わせが区民から寄せられていたことがわかりました。問い合わせのなかで多かったものの一つが「一昨年と昨年で大きく収入の増減がないのに保険料増の理由」だったと杉並区は説明しています。

保険料値上げの背景に 法定外繰入の段階的削減

収入が増えなくても保険料が引き上げられた背景には、保険料を抑えるために区が行なっている一般会計からの法定外繰入を廃止せよという安倍政権の圧力があり、それに従って区が段階的に削減したからです。

「骨太方針2019」は大問題 国保料軽減に罰則措置も

安倍政権が閣議決定した「骨太の方針2019」では、自治体に対して国民健康保険への公費削減を迫るものとなっています。高過ぎる国保料を軽減するために市区町村が独自に行ってきた法定外繰入の「早期解消を促す」と強調。繰入削減の“努力”が足りない自治体への交付金の減算（罰金）措置をつくることを明記しました。負担軽減は自治体の判断で実施できるものであり、罰則措置の適用は許されません。

値上げ容認の他会派 対案示す党区議団

国保料の値上げ議案は、自民・公明等の賛成多数で可決されました。値上げを容認した各会派の責任が厳しく問われます。

一方、党区議団は値上げの抑制を求めてきました。今年度、歳入全体で92億円程度の増収が見込まれ、増額分の内、4・8%を回せば値上げを抑えることが出来ると提案してきました。

これ以上の保険料負担増を止めるために、全力を尽くします。

解として、繰入は各自治体の判断に委ねられている“ことを区も認め「法的な縛りはない」と答えています。繰入の継続は自治体の判断で可能ですが、区は国の言いなりで「段階的縮小・廃止を進める」という姿勢に固執していることは問題です。さらに6月21日に閣議決定された「骨太の方針2019」では、削減の努力が足りない自治体に対して罰則措置を取ることまで明記されています。参議院選挙で、法定外繰入廃止、国保料引き上げを推進する自公政権に厳しい審判を下しましょう。

■第一回定例会 国保料値上げ議案について各会派の賛否

会派	自民	公明	平和	共産	自無	未来	立民	杉わ	美杉	無	維新	す自
国保料値上げに関する議案	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○

※平和（社民党、ネット議員が所属）未来（国民民主党議員が所属）
自無（自民党議員が所属）

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

ブロック塀の安全点検と助成制度の活用を

杉並区ブロック塀等改修工事助成
助成対象路線図（平成31年4月1日 修正版）



党区議団の論戦実る ブロック塀等改修助成

昨年6月18日の大阪北部を震源とした地震では、ブロック塀の倒壊による被害が出ました。

党区議団は被害の発生を受け、区内ブロック塀の調査と対策を求めてきました。ブロック塀対策は東日本大震災発生後の議会論戦等でも一貫して求めてきたものです。

現在、党区議団の論戦が実り、ブロック塀等の改修助成が開始されています。

ブロック塀点検のチェックポイント

○ … はい
× … いいえ
△ … わからない

①～⑥の□の中に、左記のとおり記号を記入して下さい。
1つでも×または△がある場合は、専門家にご相談ください。
＜緑文字＞は、粗積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の場合

④ 塀の厚さ 塀の厚さは、10cm以上である。 ※塀の高さが2m超の場合は15cm以上 ＜壁頂までの垂直距離の1/10以上＞		① 塀の高さ 塀の高さは、2.2m以下である。 ＜1.2m以下＞
⑤ 基礎の有無 コンクリート基礎がある。 ＜同上＞		② 塀の健全性 塀に傾き、ひび割れ、ぐらつきが無い。 ＜同上＞
⑥ 鉄筋・基礎根入れ深さ ＜専門家にご相談ください＞ ・塀に鉄筋が入っている。 直径9mm以上の鉄筋が、縦横80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている。 ・基礎の根入れ深さ30cm以上 ※塀の高さが1.2m超の場合のみ ＜鉄筋不要・根入れ深さ20cm以上＞		③ 控え壁の有無 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁がある。 ※塀の高さが1.2m以下の場合は控え壁不要のため、○としてください。 ＜「塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁がある」＞

図出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改

ブロック塀の安全点検を

ブロック塀の所有者や管理者の方は、塀の傾きやひび割れ等が発生していないか、塀の状態を定期的に確認し、適切な維持管理をお願いします。その際「ブロック塀の点検のチェックポイント」（右）を活用し、ブロック塀の安全点検をしてください。



上QRコードからブロック塀助成に関する区ホームページをご覧になれます。

なお、幅員4メートル以上の通学路や避難路に面し、区が危険と判断したブロック塀等の撤去費を原則全額、軽量フェンス等の新設に要する費用の一部について、所有者・管理者を対象に助成が行なわれます。助成対象期間は平成30年11月5日から令和2年3月31日（期間内に工事完了報告が必要）までです。

ぜひ助成制度を活用ください。なお、申請の際は、事前に都市整備部市街地整備課へご相談ください。



昨年の党区議団で改修助成制度の実施を要請